

千代田区都市計画マスタープラン改定  
**分野別まちづくり等の素案検討①**  
**【B.土地利用＋分野別検討資料】**

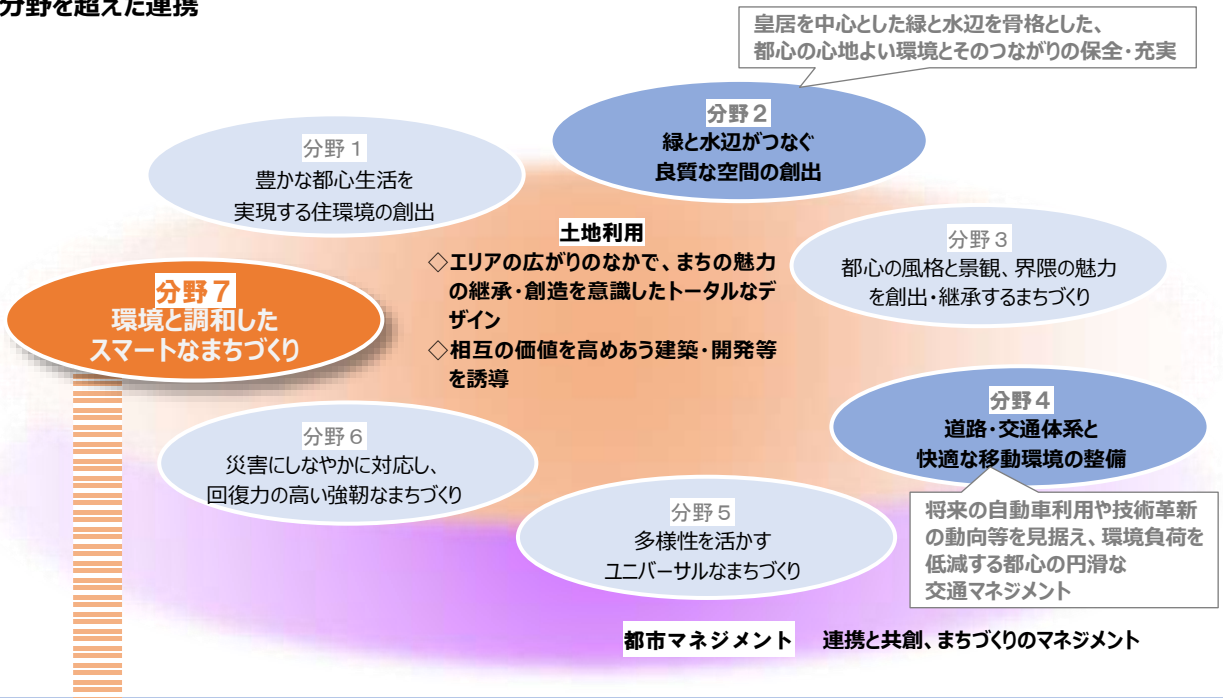
**〔分野7〕**  
**環境と調和したスマートなまちづくり**  
**たたき台**

**将来像**  
**つながる**  
**都心**

○ICT が支えるスマートで強靱な社会基盤で、都心のひとと生活、活動が最適な状態に保たれている

▷地方や世界から選ばれる都心のグローバルな価値を生み、一步先の未来を発信しつづけている

分野を超えた連携



**方針1** : 四季の変化を楽しませ、清潔で過ごしやすい**都心の環境**を守り、育てていきます

**方針2** : 都心の多様な生活と高度な都市活動とエネルギー利用を**最適化**していく**都市のデザインとマネジメント**を行っていきます

**方針3** : 都心の**資源循環・環境負荷低減のしくみ**を確立していきます

## ● 分野 7 ●

# 環境と調和したスマートなまちづくり

未来へのまなざし

ひと・モノ・情報をつなぐ次世代のスマートな都市基盤

千代田区の都市構造は、皇居や内濠・外濠、風の通るみち、河川などによって、快適な環境や生き物の生息環境が連続する緑と水のつながりが骨格となっています。夏の地表面温度上昇を抑制するクールアイランドが形成される環境のなかで、環境モデル都市として、低炭素化や環境負荷低減、緑の創出に資する建築・開発、地域冷暖房システム、資源循環などの先駆的取組みで一定の成果をあげてきました。

イメージ写真

地球温暖化対策や低炭素都市づくりに資する建築・開発  
地域冷暖房システム等のエネルギー・インフラ  
ごみの発生抑制・資源効率化  
生物多様性

こうした取組みを継続・発展させて、建物密度の高いまちなかにも緑やうるおい、夏場に涼を感じる空間、環境配慮型の建築・開発を広げていきます。また、都心で高度な土地利用が進み、エネルギー消費の大きい千代田区では、大規模災害発生時の都心の機能や生活の継続性を確保していくことも想定しながら、地域冷暖房システム等のエネルギー基盤の活用拡大とともに、土地利用の状況や未利用・再生可能エネルギーのポテンシャルを見極めて、地域の特性に応じたエネルギー利用のデザインと具体化を進めていきます。

イメージ写真

地域冷暖房システム等のエネルギーインフラの利用拡大  
未利用・再生可能エネルギーのポテンシャルの可視化と活用  
大規模災害時の機能継続を想定したエネルギーの自立分散化

こうした次世代のエネルギー基盤形成を皮切りに、技術革新の段階にあわせて、AI、自動運転等の技術を駆使した都心の移動システムやICTを介して、都心の多様な空間や機能、サービスを柔軟に賢く利用するシステムなど、次世代のスマートな都心の活動と生活を支える社会基盤を形成し、ひととひと、まち、新しい価値を生むコミュニティをつないでいきます。

**まちづくり  
の目標**

**エネルギー利用を起点に、移動、シェア、ひとのつながりへ、  
次世代のスマートな都心の社会基盤を構築していく**

- エネルギーの効率的な利用の促進による経済活動と環境配慮の両立
- 地域の特성에応じたエネルギーデザインの展開
- 進化する ICT 基盤の上で展開するスマートな都市基盤の形成

<b>方針 1</b>	<b>四季の変化を楽しませ、清潔で過ごしやすい都心の環境 を守り、育てていきます</b>
現行方針から継承する方針	強化するポイント（中間のまとめ）
方針 2 : 地球にやさしく鳥や昆虫などが棲める自然環境を回復させるとともに、人が健やかに暮らせるための環境を守る	◇多様な技術導入によるヒートアイランド対策の進化
<b>方針 2</b>	<b>都心の多様な生活と高度な都市活動とエネルギー利用を 最適化していく都市のデザインとマネジメントを行っていきます</b>
現行方針から継承する方針	強化するポイント（中間のまとめ）
方針 1 : 限られた資源を大切にし、省エネルギー型のまちを目指す	◇環境負荷の低減と地域環境創造の一体的な誘導 ◇地域冷暖房システム等の効果的活用の拡大 ◇未利用・再生可能エネルギーのポテンシャルの可視化 ◇地域エネルギーデザインとその具体化のためのエネルギー基盤形成 ◇地域のエネルギー利用のマネジメント ◇官民連携による都市の課題解決、都市基盤の形成に向けたデータ活用や情報プラットフォームの構築 ◇ I C T 等の技術革新、「Society5.0」の到来を見据えた都市基盤の形成や都心生活及び多様な活動の最適化・マネジメント
<b>方針 3</b>	<b>都心の資源循環・環境負荷低減のしくみを確立していきます</b>
現行方針から継承する方針	強化するポイント（中間のまとめ）
方針 1 : 限られた資源を大切にし、省エネルギー型のまちを目指す	—

1	皇居を中心とした緑と水辺を骨格とした、都心の心地よい環境とそのつながりの保全・充実	⇔	<b>分野2</b> 緑と水辺がつなぐ良質な空間の創出
	<p>現行方針の継承のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自然環境の保全、回復</li> <li>○市街地更新時の敷地利用、建物配置の誘導 (風の流れや緑化、水辺環境、崖線の緑等を残す自然地形への配慮)</li> </ul>	<p>強化するポイント (中間のまとめ)</p> <p style="text-align: center;">—</p>	
2	将来の自動車利用や技術革新の動向等を見据え、環境負荷を低減する都心の円滑な交通マネジメント	⇔	<b>分野4</b> 道路・交通体系と快適な移動環境の整備
	<p>現行方針の継承のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○駐車場を有効に活用するシステムの整備・情報提供</li> <li>○大規模開発に対する交通環境予測評価制度導入を検討</li> <li>○低公害車の導入と普及促進</li> <li>○自動車排気ガス規制の強化の促進</li> </ul>	<p>強化するポイント (中間のまとめ)</p> <p style="text-align: center;">—</p>	